

## 3 学期始業式(放送)

- ・ 「新年あけましておめでとうございます」という元気な挨拶が、1月5日に部活動の初練習で登校していた生徒からありました。
- ・ もちろん、私からも「あけましておめでとうございます 今年もよろしくお祈りします」と返しました。
- ・ 『挨拶』については、2学期に全校集会で何度かお話をしましたが、元気で気持ちの良い挨拶は、不思議と気分が明るくなり笑顔になります。
- ・ とは言え、昨年から現在もコロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからず、今日夕刻には、東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県に『緊急事態宣言』が発令される模様です。
- ・ 大阪も昨日、過去最高の感染者数となり、近隣の中学校においても始業式の今日と明日『臨時休業』となっているような状況です。
- ・ 年末年始もいつもとは違う雰囲気の中、おじいちゃんやおばあちゃんに会いに行くこともせず、旅行など外出することも控えた人も多くいたのではないのでしょうか。
- ・ でも、こんな時だからこそ元気で明るく居られるよう前向きな気持ちが必要です。『挨拶』もみんなが元気で居られるひとつのツールだとも考えられます。
- ・ 年末の『紅白』を観ていても、初めての無観客でありながら、様々な工夫と努力で日本中に元気を届けようという『意気込み』や『使命感』のようなものが感じられました。
- ・ また、年始に久しぶりに学校に来ると、玄関を入ったところの掲示板に『あけましておめでとうございます 笑顔あふれる一年でありますように!』というメッセージがありました。
- ・ 「皆さん、見られたでしょうか？」管理作業員さんが年始の1月4日に掲示してくれたようです。何か、あたたかさを感じる事ができました。ありがとうございます。
- ・ 人のあたたかさということで言えば、年末の南森町駅前での募金活動を経験したで生徒会役員の人から「とても寒かったけれど人のあたたかさを感じた」という実感のこもった言葉もありました。

- ・ また、私が帰宅する時に『通天閣』が非常事態を示す赤色(レッド)ではなく、医療従事者への『感謝』の気持ちを示す青(ブルー)の光に輝いていることで、お互いに支え合い頑張る気持ちを生んでいるように感じます。
- ・ 世界的なイベントに目を向けると、オリンピック・パラリンピック史上初の『延期』となった『東京大会』が今年の夏に開催が予定されています。
- ・ I O C (国際オリンピック委員会)のバッハ会長も、J O C (日本オリンピック委員会)の山下会長も、『東京大会』は開催するという強い決意をメディアを通じて世界に発信しています。
- ・ 現在の東京や世界各国の状況から言えば、開催はかなり困難であることや、批判も多くなることは分かった上での発言だと思います。
- ・ しかしながら、様々な対策を講じながら大会を開催し、そして成功させることで、コロナからのトンネルを一步抜け出し、「世界中に希望の明かりを灯したい」という強い思いが感じられます。
- ・ さて、学校に目を向けると、3学期の学校行事等においても、東京都を含む1都3県への『緊急事態宣言』の発令や、大阪の『レッドステージ』が延長となれば、内容の変更や場合によって中止ということも十分に考えられますが、
- ・ 今まで言ってきたように、このコロナ禍の中で、生徒の皆さんと教職員の知恵と工夫、そして地域・保護者の皆さんの協力のもと、例年どおりのものでなくても、明るく楽しい学校生活や学校行事が送れるようにしていきたいと強く思っています。
- ・ 3年生の皆さんにとっては、中学校最後の学期となり、『入学試験』や『卒業式』を控えた最も大切な学期であることは間違いありません。
- ・ 40日あまりの短い期間となりますが、様々な困難を乗り越えて、最後は良い思い出の残る中学校生活となることを心より願っています。
- ・ 最後に、今日から3日間は数年に一度の寒波が襲来し、たいへん寒くなるようです。生徒・教職員の皆さんともに体調の管理には十分に気をつけて、あまり無理のないように、インフルエンザを含め感染症拡大防止に努めてほしいと思います。
- ・ 以上で3学期始業式のお話を終わります。